



平成 28 年 3 月 8 日
教育委員会事務局
生涯学習文化財課

市内の文化財が新たに 国宝・重要文化財指定へ！

国の文化審議会（宮田 亮平 会長）は、平成 28 年 3 月 11 日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、市内に所在する重要文化財「称名寺 聖教」などを新たに国宝に、「氷川丸」（市指定文化財）を国の重要文化財に指定することについて、文部科学大臣に答申する予定です。

今回の新指定により、市内に所在する国宝・国重要文化財は 86 件（うち国宝 3 件）になります。

| 名称及び数量 | 所有者 | 備考 |
|-------------------------------------|--------------------------|--|
| 国宝（書跡・典籍） 1 件 | | |
| 称名寺 聖教 16,692 点 金沢 文庫 文書 4,149 通 | 宗教法人称名寺 （神奈川県立金沢文庫保管） | 重要文化財「称名寺聖教」及び「金沢文庫文書」、未指定「称名寺聖教(断簡類)」を一括して国宝に指定 |
| 重要文化財（歴史資料） 1 件 | | |
| 氷川丸 1 艘 昭和五年、横浜船渠株式会社製 | 日本郵船株式会社 | 平成 15 年 11 月 4 日横浜市指定有形文化財に指定 |



氷川丸

【林 文子 市長コメント】

氷川丸は戦前から唯一現存する日本の貨客船であり、海洋国日本の歴史において重要な役割を果たしてきました。(株)日本郵船をはじめ関係者の方々の御尽力により、市の文化財として保存活用され、市民の皆様にも親しまれてきた氷川丸が、このたび国の重要文化財にという高い評価を受け、大変光栄に思っています。

また、称名寺聖教及び金沢文庫文書は、日本における代表的な仏教・寺院資料、武家文書として大変貴重なものであり、この類のない国民の宝を、関係者の方々と協力し、後世に引き継いでいきたいと思っております。

新指定の国宝・国重要文化財概要

1 国宝（書跡・典籍）

| | |
|-------------------------|----------|
| しょうみょうじしやうぎやう 称名寺 聖教 | 16,692 点 |
| かなざわぶんこもんじよ 金沢 文庫 文書 | 4,149 通 |

【所有者】：宗教法人称名寺(金沢区金沢町 212 - 1)

神奈川県立金沢文庫保管

【時代】：平安時代～明治時代

【概要】：

金沢氏の菩提寺であった称名寺と、北条実時の草創にかかる金沢文庫に伝来した史料群の一括で、聖教及び文書ともに、我が国における代表的な仏教・寺院史料及び武家文書として貴重である。

聖教、文書ともに、重要文化財の指定を受けていたが、これらを統合し、新たに明らかになった聖教類を追加することで、史料群の全体像を把握することができる。

鎌倉時代の浄土宗や禅宗などの鎌倉新仏教、真言宗をはじめとした旧仏教を問わず仏教史はもちろんのこと、政治史のみならず武家の文化を解明する上で欠かせない第一級の史料である。



称名寺聖教
《文化庁提供》



金沢文庫文書
《神奈川県立金沢文庫提供》

2 重要文化財（歴史資料）

氷川丸 1 艘
昭和五年、横浜船渠株式会社製

【所有者】：日本郵船株式会社（東京都千代田区丸の内 2-3-2）

中区山下町山下公園地先所在

【時代】：昭和時代

【概要】：

氷川丸は昭和 5 年に日本郵船株式会社が発注し、横浜船渠株式会社にて竣工した貨客船である。昭和 35 年（1960）の引退まで主としてシアトル航路に就航し戦前・戦後の貨客輸送に従事したが、昭和 16 年（1941）からは海軍特設病院船、終戦後は復員輸送船、のちに国内・国外航路貨客船の任を担った。本船は当時の先進の造船技術を導入して国内にて建造された貨客船であり、海外との輸送手段を貨客船が担っていた時代、戦中戦後の激動の時代において、社会・経済史上に大きな役割を果たした。

戦前期に多数建造された外航船の現存唯一の遺存例として、近代交通史上、造船技術史上などに貴重である。

※「氷川丸」は、平成 15 年 11 月 4 日に横浜市指定有形文化財（建造物）に指定されておりますが、今回の国重要文化財の指定を受け、横浜市の文化財指定は解除となります。

※写真の提供はお問合せ先まで御連絡ください。

お問合せ先

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 重松 馨 Tel 045-671-3236